

自然の恵み 「水」に出会う

錦江町には、多くの自然や森が残っており、肝属山系などから多くの水が湧き、田畑の農作物や皆さんの飲み水として、利用されています。また、錦江町にはマイナスイオンをたっぷり味わえる奥花瀬や神川大滝などあります。

通好みの「こだわり」水探し

錦江町には、自然の恵みを受けた美味しい山湧水が湧いています。水は、水の硬度（mg/l）の値によって、硬水や軟水という名称で呼ばれ、軟水（0-60未満）、中軟水（60-120未満）、硬水（120-180未満）と分類されています。

ヨーロッパの水はほとんどが硬水であり、日本の水はほとんどが、軟水や中軟水が多いようです。一般的には、硬水は日本人の口には合わないと言われて、水道水の硬度は100以下に抑えられていることが多いです。

軟水は赤ちゃんのミルク作りやお茶、だし汁などに適しており、硬水はミネラルウォーターの名の通り、ミネラル分の補給、または灰汁を析出しやすい為、灰汁の出る料理に適しています。

錦江町のミネラル成分を分析しましたので、用途に合わせ水を使ってみてはいかがでしょうか？

硬度の計算方法 (mg/l)

$$= \text{カルシウム濃度 (mg/l)} \times 2.5 + \text{マグネシウム濃度 (mg/l)} \times 4.1$$

採水日：平成20年10月

ミネラル成分	カルシウム	マグネシウム
大原集落水源流	7.7	1.5
折小野河川	5.1	1.1
内ノ牧上流河川	3.6	0.9
木場岳	3.5	0.8
半ヶ石（うるしやまの水）	8.1	2.7
猪鹿倉旧集落水	5.1	1.2
五郎ヶ元	3.5	1.5
新田集落水源流	5.9	1.6
南風谷	2.9	0.8
中尾	9.4	1.4
宿利原	15.9	3.9
半ヶ石集落水	3.4	0.8
足光谷	4.9	1.2
神川大滝公園内岩清水	14.2	6.5
皆倉集落水	11.9	4.1

